

「第2回土佐清水市史編さん・編集合同委員会」修了!

—資料編執筆に伴う事業1年延長により「編さん委員」「編集委員」の任期延長—

先週3月3日(金)14時より中央公民館2階会議室にて、標記の委員会を開催した。会議には編さん委員磯脇副市長ほか3人の編さん委員、武藤清編集委員ほか6名の編集委員、及び事務局(生涯学習課西原課長、由岐係長、吉本職員)、株式会社ぎょうせい(四国支社営業課藤山課長代理、宮内職員)の15名が出席した。

以下の方々が編さん委員、編集委員の任期延長となった。

【編さん委員】

泥谷光信(委員長・市長)・磯脇堂三(委員・副市長)・宅間一之(委員・監修)
岡崎哲也(副委員長・教育長)・東近伸(委員)・田村公利(委員)

【編集委員】

田村公利(委員長・市史編さん室長)・武藤清(委員)・谷岡暁美(委員)・浜岡篤(委員)
東近伸(副委員長)・松田直則(委員)・出原恵三(委員)・岩井拓史(委員)
森口夏季(委員)・土井恵治(委員) ※田村公利、東近伸氏は編さん委員兼任編集委員。

任期は令和5年1月7日より令和6年3月31日までになります。引き続きよろしくお願
いいたします。なお、今回1名欠員となっていた編集委員として、国立公園*ジオパーク
推進課・土井恵治専門員が任命されました。土井委員には、既にゲラ刷りが終了している
「地勢・地形地質」の校正と、ゲラ前原稿の「防災史」における「昭和南海地震」について
執筆を急ピッチにお願いしているところです。



↑ 合同委員会の様子(左写真)、土井恵治編集委員の研究発表の様子(右写真)。

委嘱状並びに辞令交付の後、市史編さん室長の田村より「令和4年度市史編さん事業の
総括」について、その執筆進捗状況、普及啓発活動や資料編などの内容についての報告が

あった。

その後、研究発表として新たに編集委員となった土井恵治委員から「昭和南海地震」の市域聞き取り調査とその内容について研究発表してもらいました。土佐清水市郷土史同好会（武藤清会長）と協働して実施した聞き取りであり、三崎地区を中心に約 60 件の調査内容をまとめ、地震の規模や被害状況・津波の高さ・市内各『学校日誌』に記述されている地震情報などについて発表していただいた。

「市民図書館」「土佐清水市郷土史同好会」共催

「石造物拓本ワークショップ」17 名の受講者

先日 3 月 4 日(土)13 時 30 分から土佐清水市立市民図書館 2 階視聴覚室にて、愛媛県伊方町文化財保護審議会・黒川信義氏を講師に標記のワークショップを開催した。補助として堺市博物館学芸課推進係・海邊博史係長が当たっていただいた。黒川氏は『新土佐清水市史』の石造物調査のオブザーバー的立場で市史編さん室がアドバイスを受けている。

また、堺市博物館学芸課推進係・海邊博史係長は、中世石造物（五輪塔など）について調査していただき、資料編で執筆を依頼している。受講者の方々は、「拓本の魅力を存分に感じることができ、時間があっという間に過ぎていった」と好評であった。



「スポーツハブ事業・へんろ道ウォーク」を実施！

先日 3 月 5 日(日)9 時から、スポーツハブ事業「へんろ道ウォーク」（講師・田村公利）を実施。生涯学習課由岐係長とともに生涯学習課も出務した。春風、梅花薫る晴天のもと「真念庵周辺道」「長野道」「大岐道」を受講者とともにウォーキング。参加者と遍路文化や丁石、また長野道の大正九年災害碑についてたくさん質問を受ける。下ノ加江砂浜で汐の匂いを感じながら昼食。和気藹々とした雰囲気の中にも参加者のやる気と探究心を強く感じる事業であった。参加者の皆様、スクラムの皆様、お疲れさまでした。

